

金融庁 総合政策局 総合政策課 御中

【報告書】  
ESG指数に関する調査

---

株式会社野村総合研究所  
金融ITイノベーション事業本部

2021年3月30日

**NRI**

*Share the Next Values!*



## 01 概要

## 02 対象指数の特定

## 03 対象指数の定量的特徴

## 04 主要なESG評価の体系

## 05 対象指数の定量的プロフィール

## 概要①

- 我が国の公募投信および年金資産運用において、ESG指数を用いたインデックス運用が広がりつつある。本調査の目的は、ESG投資に用いられる指数群について、その算出根拠となるESG評価の手法等に関する情報収集を行うとともに、各指数の特徴を整理・分類することにある。
- 親指数との定量的な比較により、ESG指数には概ね次のような特徴があるといえる：
  - アクティブシェアは高くても50%程度、トラッキング・エラーは高くても年率2.5%程度のものが多い。
  - 構成銘柄群は大型化し、P/B倍率は高くなる傾向がある（大型・グロース寄り）。配当利回りには親指数との相違はない。
  - 回転率は5～15%程度であり、親指数に比べて5～10%ポイント程度高い。
  - ただしこれらは2020年末時点における情報に基づくものであり、将来においても妥当するとは限らない。
- ESG指数は、一般には①総合型／特化型、②業種中立かどうか、③スクリーニング型／ティルト型といった観点から分類されるものの、この一般的な分類と定量的特徴とは必ずしも関係しない。
- ESG指数に対してESG評価をどの程度反映させるかは、各指数プロバイダーの裁量（各社が指数ごとに策定するメソッドロジー）による。定量的な比較結果も踏まえ、ESG指数は次の観点からも分類できるのではないかと。
  - キャパシティ、業種をはじめとする諸ファクターへの分散度、複製可能性などへの配慮から、親指数と概ね同等のリスク／リターン特性を保持しつつ、ポートフォリオのESG評価を改善するように設計された「時価加重指数代替型」ESG指数
  - ESG評価をポートフォリオ（ウェイト）に色濃く反映し、リスク／リターン特性が親指数とは異なるように設計された「積極ESG型」指数
- 各ESG指数の過去のパフォーマンスは、親指数と概ね同等ないしやや良好であるものが多い。ただしこのパフォーマンスは、ESG指数連動商品を組成・運用する際に追加的に生じる諸コストを控除したものではないため、最終投資家であるアセットオーナーの観点からは、予断を持って積極的な評価をすべきではない。
- なお本調査は、調査対象としたESG指数のプロバイダー5社（MSCI, FTSE Russell, S&P, STOXX, Morningstar）の任意での協力により提供されたデータに基づくものである。各社の全面的かつ惜しみない協力に対し、ここに感謝の意を示す。

## 概要②

■ 調査対象指数は次のような観点から分類できる。

■ 時価加重指数代替型と積極ESG型の分類の閾値は、概ねアクティブシェア30%，トラッキング・エラー1%とした。

時価加重指数代替型	積極ESG型
<ul style="list-style-type: none"> <li>親指数に対して相対的に低いアクティブシェア，トラッキング・エラーを有するESG指数</li> <li>リスク・リターン特性が親指数相当となることを前提に，キャパシティ，分散，複製可能性等に配慮しつつ付加的にESG評価を加味するもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親指数に対して相対的に高いアクティブシェア，トラッキング・エラーを有するESG指数</li> <li>リスク・リターン特性を改善するためのファクターないしシグナルとしてESG評価を活用するか，スクリーニング等を通じた正の外部効果（発行体企業がESG評価を改善するための行動）を積極的に期待するもの</li> </ul>

### 本調査の対象指数の分類

総合型	<ul style="list-style-type: none"> <li>MSCI ACWI（除く日本）ESG ユニバーサル指数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数</li> <li>FTSE Blossom Japan指数</li> <li>iSTOXX MUTB Japan ESGクオリティ200指数</li> <li>MSCIコクサイESGリーダーズ指数</li> <li>FTSE4Good Developed 100指数</li> </ul>
特化型 ("E")	<ul style="list-style-type: none"> <li>S&amp;P JPXカーボン・エフィシエント指数</li> <li>S&amp;P グローバル（除く日本）大中型株 カーボン・エフィシエント指数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MSCIワールドSRIロー・カーボンセレクト5%イシューアークャップド指数</li> <li>FTSE USA ESG Low Carbon Select指数</li> </ul>
特化型 ("S")	<ul style="list-style-type: none"> <li>Morningstar先進国（除く日本）ジェンダー・ダイバーシティ指数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MSCI日本株女性活躍指数（セレクト）</li> <li>MSCI日本株女性活躍指数</li> </ul>

# 本報告書で用いた用語の説明

用語	説明
親指数	ESG指数の構築・算出の基礎となる時価加重型の指数。時価加重型の指数に対しては、通常は銘柄ごとに浮動株比率を考慮し、流動性があると見なされる株数に株価を乗じた時価総額が組み入れられる（この組入時価総額を指数への組入時価総額の合計で除したものがウェイトとなる）。ESG指数は、この時価加重型の親指数に含まれる銘柄から対象銘柄を限定（スクリーニング）したり、親指数への組入時価総額に、ESG評価に基づく係数を乗じて調整（ティルト）するなどして構成される。
アクティブシェア	<p>2つのポートフォリオ（ESG指数と親指数）の保有内容の差を表す特性値。以下のように、ある時点における銘柄ごとのウェイトの差分を求め、その絶対値の合計を2分の1倍して算出する。</p> $\text{アクティブシェア} = \frac{1}{2} \sum_{i=1}^n  w_{ESG,i} - w_{P,i} $ <p>ここでnは2つのポートフォリオにおけるユニークな銘柄数、<math>w_{ESG,i}</math>はESG指数における銘柄iのウェイト、<math>w_{P,i}</math>は親指数における銘柄iのウェイト。</p> <p>アクティブシェアは、2つのポートフォリオの保有内容がまったく同じならば0%、重複がまったくなければ100%となる。</p>
トラッキングエラー	本報告書においては、2つのポートフォリオの月次リターン差分の標準偏差を年率化したもの。トラッキングエラーは、リターンの差分が常に同一であれば0%となる。また例えば、親指数とESG指数で毎月のリターンの差が大きく、その変動も大きい場合、トラッキングエラーは高くなる。
P/B倍率	時価総額を純資産額で除したもの（price-to-book multiple）。一般に、P/B倍率の高い銘柄群は「グロース銘柄」、低い銘柄群は「バリューストック銘柄」と分類され、ポートフォリオ（指数）のレベルでも、全体がグロース傾向にあるのかバリューストック傾向にあるのかを測るために、P/B倍率が用いられる。
配当利回り	過去1年（本報告書においては2020年）の配当総額を時価総額で除したもの。特に配当利回りの高い銘柄群は「高配当銘柄」と呼ばれ、ポートフォリオ（指数）のレベルでも、全体が高配当傾向にあるのか低配当傾向にあるのかを測るために、配当利回りが用いられる。
回転率	過去1年でポートフォリオ内に生じた売買（リバランス）額を時価総額で除したもの。リバランスは、時価加重型指数においては銘柄の入れ替え、株式の追加発行・償却、浮動株比率の変更等によって生じ、これらがなければ回転率は0となる。ESG指数では、親指数におけるリバランスの他、ESG評価の変更や、コントロボシー・モニタリングによる特定銘柄の除外・復帰等によってもリバランスが生じる。一般に、指数の回転率が高いほど、それをトラックする実ポートフォリオとのリターンの乖離は拡大する傾向がある。そのため、指数通りのリターンを提供するためには指数の回転率は低い方が通常望ましい。

01 概要

02 対象指数の特定

03 対象指数の定量的特徴

04 主要なESG評価の体系

05 対象指数の定量的プロフィール

## ESG指数の利用状況と対象指数の選定について①

- 公募投信および公的年金の国内株式運用で採用されているESG指数。
- 運用機関グループが独自に算出するプライベート指数，および日銀のETF買入対象となっているいわゆる「賃上げETF」で用いられる指数は対象外とする（#7～10）。

資産クラス	#	指数名	ファンド名・年金名	公募投信 設定日	同・純資産額 (1月末, 百万円)
国内株式	1	MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	ダイワ上場投信-MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	'17/9/25	5,020
			eMAXISジャパンESGセレクト・リーダーズインデックス	'18/10/22	689
			三菱UFJ DCジャパンESGセレクト・リーダーズインデックス	'20/8/31	1
			Smart-i国内株式ESGインデックス	'19/10/30	547
			GPIF, 全国市町村共済, 警察共済	---	---
	2	FTSE Blossom Japan指数	ダイワ上場投信-FTSE Blossom Japan Index	'17/9/25	1,581
			One ETF ESG	'17/11/27	3,115
	3	S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数	GPIF	---	---
			MAXISカーボン・エフィシエント日本株上場投信	'20/2/5	1,232
	4	iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200指数	NZAM上場投信S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数	'20/9/10	26,862
GPIF			---	---	
5	MSCI日本株女性活躍指数	ジャパンESGクオリティ200インデックスF《ESGナビ》	'20/3/10	6,400	
		ダイワ上場投信-MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)	'17/9/25	706	
6	MSCI日本株女性活躍指数 (セレクト)	GPIF	---	---	
		NEXT FUNDS MSCI日本株女性活躍指数 (セレクト) 連動型上場投信	'18/5/14	4,331	
7	SNAMサステナビリティ・インデックス (カスタム指数)	地方公務員共済	---	---	
8	MSCI日本株人材設備投資指数	ダイワ上場投信-MSCI日本株人材設備投資指数	'16/5/18	44,389	
		上場インデックスF日本経済貢献株《上場日本経済貢献》	'16/5/24	2,745	
9	JPX/S&P設備・人材投資指数	One ETF JPX/S&P設備・人材投資指数	'16/6/9	52,369	
		iシェアーズJPX/S&P設備・人材投資ETF	'16/6/9	9,552	
10	iSTOXX MUTB Japan積極投資企業200インデックス	MAXIS JAPAN設備・人材積極投資企業200上場投信《前向き日本》	'16/6/27	4,785	

(出所) 公募投信についてはFundmark DL, 年金については各年金の開示資料に基づく

## 対象指数の特定

### ESG指数の利用状況と対象指数の選定について②

- 公募投信および公的年金の外国株式および国内REITの運用で採用されているESG指数。
- #11は一般性のある「MSCI ACWI（除く日本） ESGユニバーサル指数」に読み替えた上で対象に加える。

資産クラス	#	指数名	ファンド名・年金名	公募投信 設定日	同・純資産額 (1月末, 百万円)
外国株式	11	MSCI ACWI（除く日本、除く中国 A 株） ESG ユニバーサル指数（管理運用法人の配当課税要 因考慮後）	GPIF	---	---
	12	S&P グローバル（除く日本） 大中型株 カーボン・ エフィシエント指数	GPIF	---	---
	13	MSCIコクサイESGリーダーズ指数	Smart-i先進国株式ESGインデックス	'19/10/30	269
	14	FTSE4Good Developed 100指数	野村グローバルSRI 100《野村世界社会的責任投資》	'04/5/28	3,337
			野村世界SRI（社会的責任投資） インデックスF（確定拠出年金向け）	'04/7/30	402
			野村インデックスF先進国ESG株式《Funds-i先進国ESG株式》	'21/1/21	309
	15	Morningstar 先進国（除く日本） ジェンダー・ダイ バーシティ指数	GPIF	---	---
16	MSCIワールドSRIロー・カーボンセレクト5%イシューア ーキャップド指数	UBS MSCI先進国サステナブル株式インデックスF《みらいゲート・先進国》	'19/1/29	315	
17	FTSE USA ESG Low Carbon Select指数	HSBC ESG米国株式インデックスF	'20/11/27	682	
国内REIT	18	日経ESG-REIT指数	上場インデックスF日経ESGリート《上場ESGリート》	'20/9/3	6,493

(出所) 公募投信についてはFundmark DL, 年金については各年金の開示資料に基づく



01 概要

02 対象指数の特定

03 対象指数の定量的特徴

04 主要なESG評価の体系

05 対象指数の定量的プロフィール

## ESG指数分類の一般的な観点

■ ESG指数は、一般に次のような観点から分類される。

### 1. 対象とするESG要素：総合型／特化型

- 総合型は、E/S/Gの各要素の評価を全て考慮する指数。
- 特化型は、E/S/Gのいずれかの要素のみを考慮する指数。ただし、G（ガバナンス）のみを対象とするESG指数は、今回の調査対象指数には存在しなかった。

### 2. 業種中立性：中立／非中立

- 業種配分を親指数におけるそれと一致させるメソッドロジーかどうか。
- 「業種」とは、今回の調査対象指数においては、GICS®における11の「セクター」、ICB®における11の「産業」、GECSにおける11の「セクター」を指す。

### 3. 構成銘柄・ウェイトへのESG評価の反映方法：スクリーニング型／ティルト型

- スクリーニング型は、親指数の構成銘柄から、ESG評価等に基づいてESG指数の構成銘柄を抽出・選択する指数。具体的には次のような指数がある。
  - ・ ESG評価が一定の水準以上の銘柄のみを組み入れ対象とする指数
  - ・ 特定の事業（一部の兵器、タバコの製造等）に関与する企業を除外する指数
- ティルト型は、親指数の構成銘柄のウェイトに対し、ESG評価の高い銘柄をオーバーウェイト、低い銘柄をアンダーウェイトする指数。
- スクリーニングとティルティングの両方を組み合わせて構築される指数も存在する。

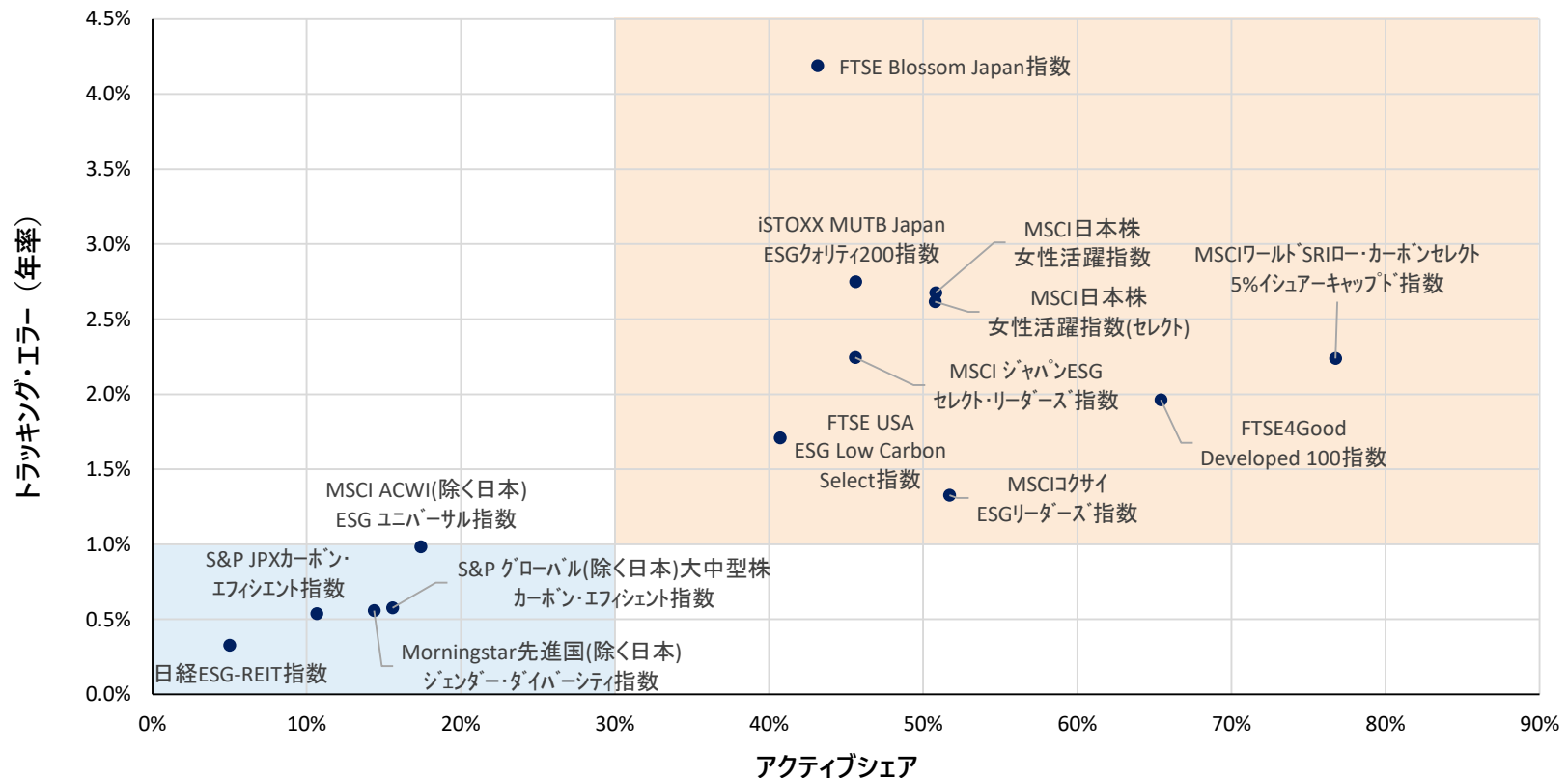
## 指数分類と定量的特徴（カバレッジとリスク）

#	指数名	分類			カバレッジとリスク				
		総合型 ／特化型	業種 中立性	スクリーニング ／ティルト	組入銘柄数			アクティブシェア	トラッキング・ エラー
					ESG 指数	親指数	親指数に 対する 割合		
1	MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	総合型	中立	スクリーニング	235	699	33.6%	46%	2.2%
2	FTSE Blossom Japan指数	総合型	中立	スクリーニング	201	1,393	14.4%	43%	4.2%
3	iSTOXX MUTB Japan ESGクオリティ200指数	総合型	非中立	スクリーニング &ティルト	200	600	33.3%	46%	2.7%
4	S&P JPXカーボン・エフィシエント指数	特化型	中立	ティルト	1,787	2,172	82.3%	11%	0.5%
5	MSCI日本株女性活躍指数（セレクト）	特化型	非中立	スクリーニング &ティルト	265	699	37.9%	51%	2.6%
6	MSCI日本株女性活躍指数	特化型	非中立	スクリーニング &ティルト	301	699	43.1%	51%	2.7%
7	MSCI ACWI（除く日本）ESG ユニバーサル指数	総合型	非中立	ティルト	2,567	2,681	95.7%	17%	1.0%
8	S&P グローバル（除く日本）大中型株 カーボン・エフィシエント指数	特化型	中立	ティルト	2,097	2,989	70.2%	16%	0.6%
9	MSCIコクサイESGリーダーズ指数	総合型	中立	スクリーニング	575	1,284	44.8%	52%	1.3%
10	FTSE4Good Developed 100指数	総合型	非中立	スクリーニング	103	2,136	4.8%	65%	2.0%
11	Morningstar先進国（除く日本）ジェンダー・ダイバーシティ指数	特化型	非中立	ティルト	1,926	1,938	99.4%	14%	0.6%
12	MSCIワールドSRIロー・カーボンセレクト5%イシュー・キャップド指数	特化型	非中立	スクリーニング	328	1,585	20.7%	77%	2.2%
13	FTSE USA ESG Low Carbon Select指数	特化型	非中立	スクリーニング &ティルト	438	584	75.0%	41%	1.7%
14	日経ESG-REIT指数	総合型	非中立	ティルト	61	62	98.4%	5%	0.3%

## アクティブシェアとトラッキング・エラー

- アクティブシェアは高く50%程度、トラッキング・エラーは高く2.5%程度のものが多い。一般的な指数の分類（総合型か特化型か等）による傾向はない。
- 両者がともに低位で、リスク特性が時価加重型の親指数に近くなるよう設計上の配慮をしたと考えられる指数群がある一方、両者がともに高位で、ESG評価を積極的にポートフォリオに反映する指数群もある。

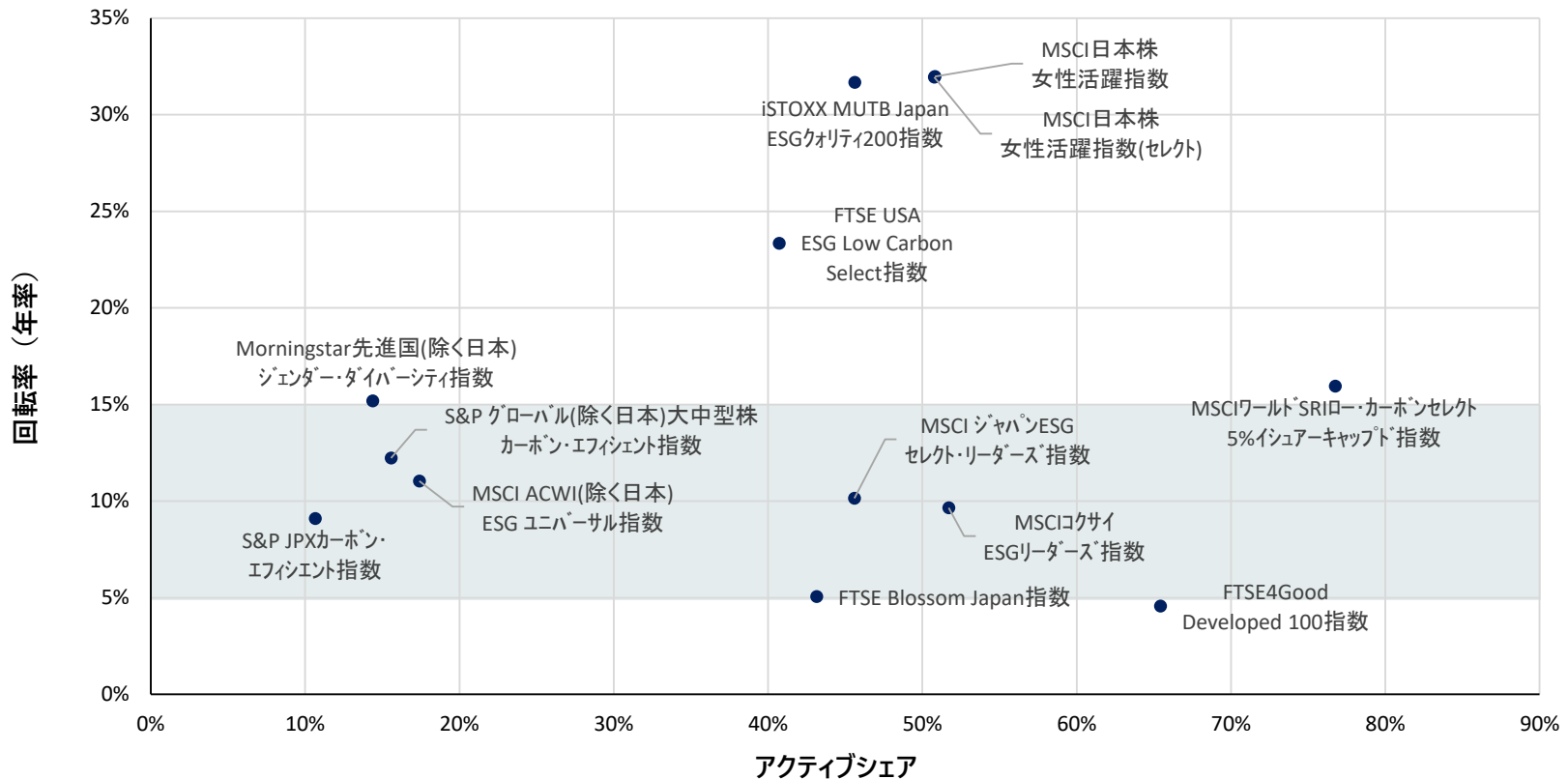
親指数に対するアクティブシェアとトラッキング・エラーのプロット



## アクティブシェアと回転率

- 回転率は絶対水準で5～15%程度のものが多い。
- また、親指数との相対では5～10%ポイント程度高いものが多い（次ページ表参照）。

親指数に対するアクティブシェアと回転率のプロット



## 指数分類と定量的特徴（ポートフォリオ特性）

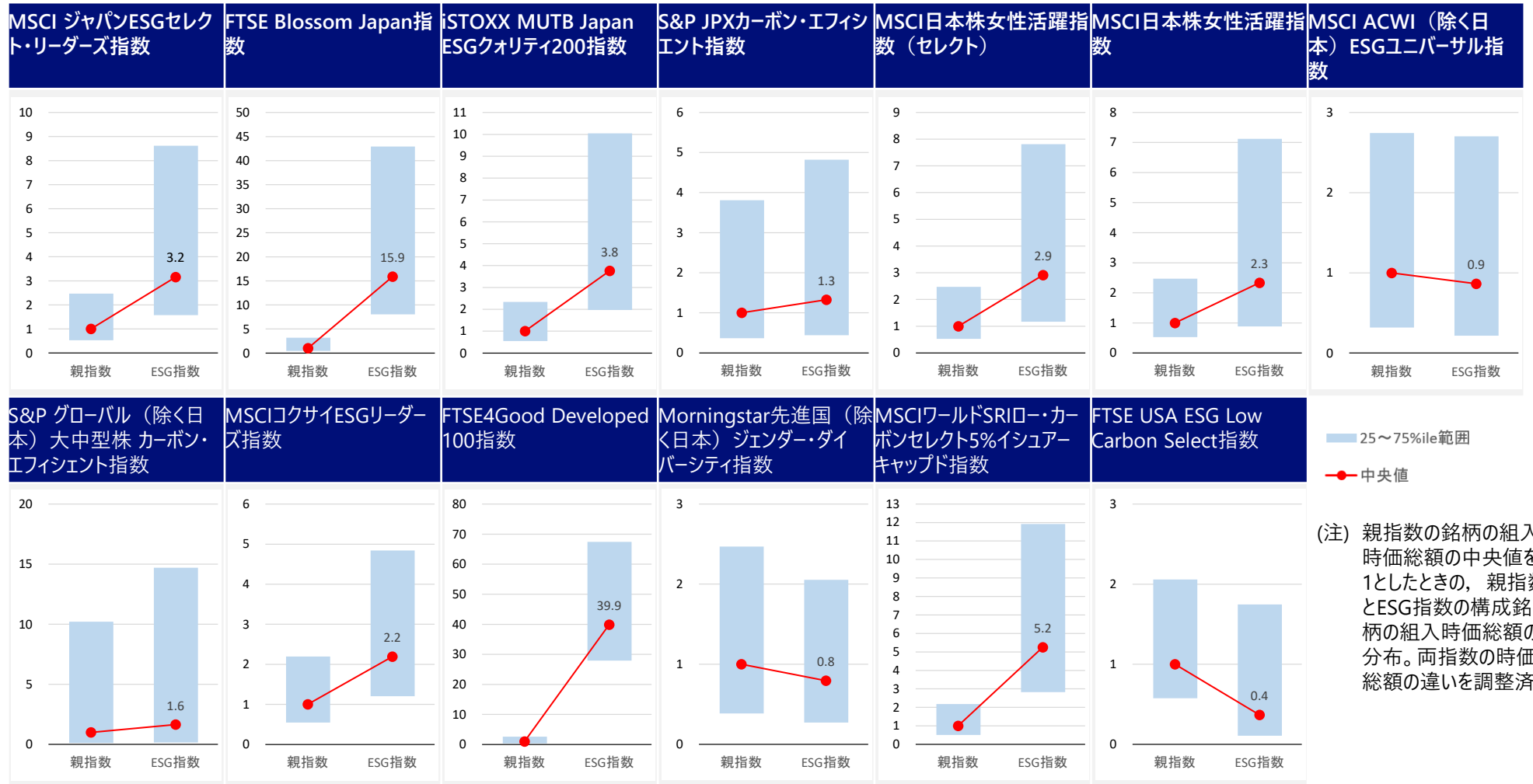
#	指数名	ポートフォリオ特性(2020年末, または2020年)								
		回転率			P/B倍率			配当利回り		
		ESG 指数	親指数	親指数と の差	ESG 指数	親指数	親指数と の差	ESG 指数	親指数	親指数と の差
1	MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	10.2%	4.2%	5.9%	1.7	1.4	0.3	2.0%	2.0%	▲0.0%
2	FTSE Blossom Japan指数	5.1%	0.7%	4.4%	1.4	1.4	▲0.0	2.4%	2.1%	0.3%
3	iSTOXX MUTB Japan ESGクオリティ200指数	31.7%	4.0%	27.7%	2.4	1.4	1.0	2.1%	2.2%	▲0.1%
4	S&P JPXカーボン・エフィシエント指数	9.1%	n/a	n/a	1.4	1.3	0.1	2.0%	2.0%	▲0.0%
5	MSCI日本株女性活躍指数（セレクト）	31.9%	4.2%	27.7%	1.7	1.4	0.3	2.0%	2.0%	▲0.0%
6	MSCI日本株女性活躍指数	32.0%	4.2%	27.7%	1.6	1.4	0.2	2.0%	2.0%	▲0.0%
7	MSCI ACWI（除く日本）ESG ユニバーサル指数	11.0%	5.5%	5.5%	3.1	2.9	0.2	1.8%	1.8%	0.0%
8	S&P グローバル（除く日本）大中型株 カーボン・エフィシエント指数	12.2%	5.3%	7.0%	3.1	2.9	0.2	1.8%	1.8%	0.0%
9	MSCIコクサイESGリーダーズ指数	9.7%	4.7%	4.9%	3.7	3.2	0.5	1.9%	1.8%	0.1%
10	FTSE4Good Developed 100指数	4.6%	0.2%	4.3%	4.5	2.8	1.7	1.8%	1.9%	▲0.0%
11	Morningstar先進国（除く日本）ジェンダー・ダイバーシティ指数	15.2%	4.2%	11.0%	3.1	3.0	0.1	1.8%	1.7%	0.1%
12	MSCIワールドSRIロー・カーボンセレクト5%イシューアークャップド指数	15.9%	4.7%	11.2%	3.7	2.9	0.7	1.7%	1.8%	▲0.1%
13	FTSE USA ESG Low Carbon Select指数	23.3%	0.2%	23.2%	4.2	4.4	▲0.3	1.8%	1.5%	0.2%
14	日経ESG-REIT 指数	n/a	n/a	n/a	1.4	1.4	0.0	3.9%	4.0%	▲0.0%

## 対象指数の定量的特徴

# 構成銘柄の時価総額の分布

■ ESG指数は親指数に比べて大型化する傾向。

組入時価総額の分布の比較 (親指数構成銘柄の中央値 = 1, 2020年12月末)



(注) 親指数の銘柄の組入時価総額の中央値を1としたときの、親指数とESG指数の構成銘柄の組入時価総額の分布。両指数の時価総額の違いを調整済。

01 概要

02 対象指数の特定

03 対象指数の定量的特徴

04 主要なESG評価の体系

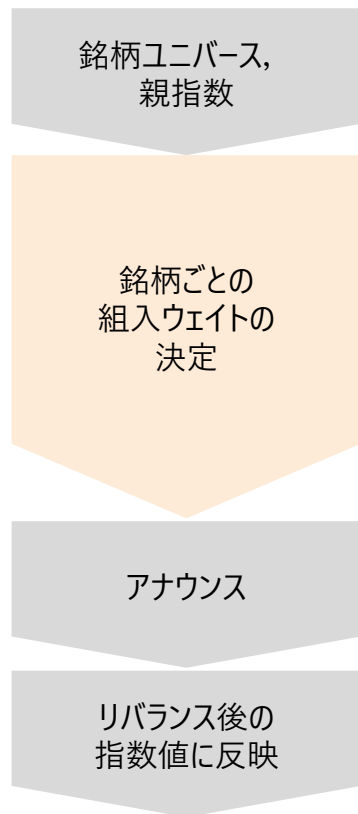
05 対象指数の定量的プロフィール



# ESG指数の構築・算出プロセスの一般形

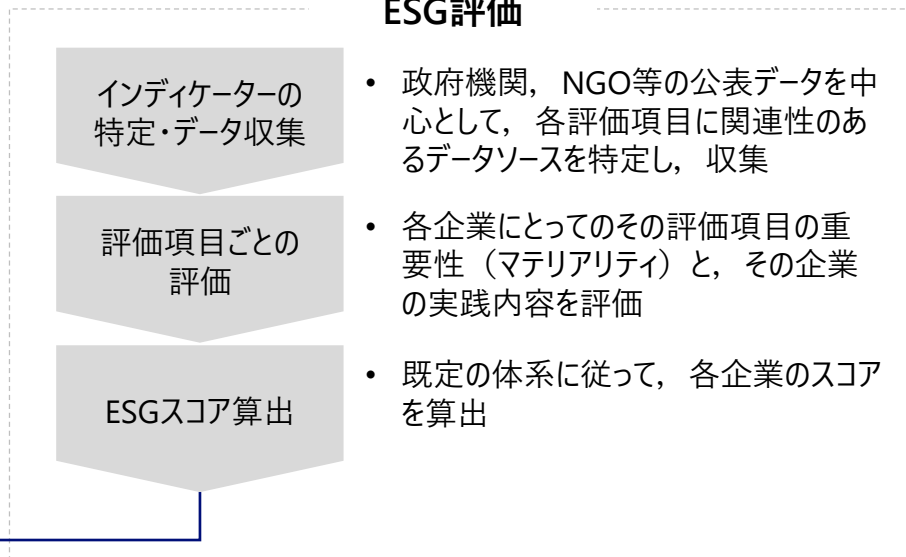
## 指数値算出のプロセス

- 通常は時価加重型の指数を親指数とし、対象国やキャップ等を限定
- 既定のメソドロジーに従い、定時リバランスのサイクルに併せて構成銘柄とそのウェイトを決定
- コントロバシー・モニタリングにより、任意の時点で組入銘柄から除外する場合もある
- 既定の周知期間（数週間程度）を確保できるタイミングでアナウンス
- リバランス日においてポートフォリオをアナウンス通りにリバランスし、以降の指数値を算出



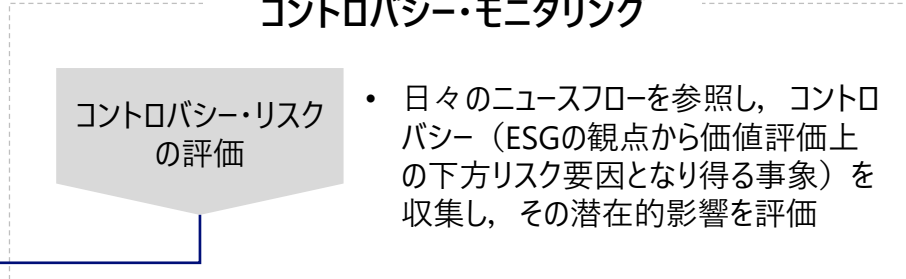
## ESG評価・モニタリング手続き

### ESG評価



- 政府機関、NGO等の公表データを中心として、各評価項目に関連性のあるデータソースを特定し、収集
- 各企業にとってのその評価項目の重要性（マテリアリティ）と、その企業の実践内容を評価
- 既定の体系に従って、各企業のスコアを算出

### コントロールバシー・モニタリング



- 日々のニュースフローを参照し、コントロールバシー（ESGの観点から価値評価上の下方リスク要因となり得る事象）を収集し、その潜在的影響を評価

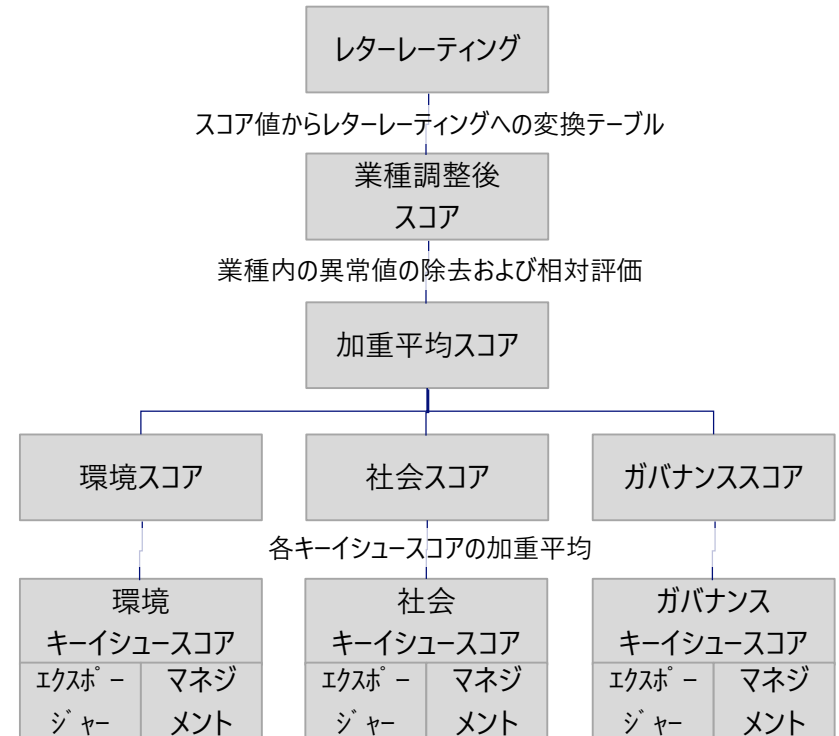
# MSCI社のESG Ratings

- MSCI ESG Ratingsは、長期的に財務に影響を与えうるESGリスクに対する各企業のレジリエンスを測定するもの。
- E/S/Gの3本の柱の下に10のテーマ、35のキーイシューを設定。各キーイシューごとに、①エクスポージャーと②マネジメントの評価を付与し、特定の換算ルールの下でキーイシューごとのスコアに統合。
- 業種による調整等を施した上で最終的なレターレーティングを算出。

## ESGキーイシューの体系

3 Pillars	10 Themes	35 ESG Key Issues	
Environment	Climate Change	Carbon Emissions	Financing Environmental Impact
		Product Carbon Footprint	Climate Change Vulnerability
	Natural Capital	Water Stress	Raw Material Sourcing
		Biodiversity & Land Use	
Pollution & Waste		Toxic Emissions & Waste	Electronic Waste
		Packaging Material & Waste	
	Environmental Opportunities	Opportunities in Clean Tech	Opportunities in Renewable Energy
		Opportunities in Green Building	
Social	Human Capital	Labor Management	Human Capital Development
		Health & Safety	Supply Chain Labor Standards
	Product Liability	Product Safety & Quality	Privacy & Data Security
		Chemical Safety	Responsible Investment
Stakeholder Opposition	Consumer Financial Protection	Health & Demographic Risk	
	Controversial Sourcing		
Community Relations	Access to Communications	Access to Health Care	
	Access to Finance	Opportunities in Nutrition & Health	
Governance*	Corporate Governance	Ownership & Control	Pay
		Board	Accounting
	Corporate Behavior	Business Ethics	
		Tax Transparency	

## スコアリングの体系



(出所) MSCI資料に基づきNRI

(注) この他に特定企業にのみ適用されるESGキーイシューが設定される場合がある  
(出所) MSCI

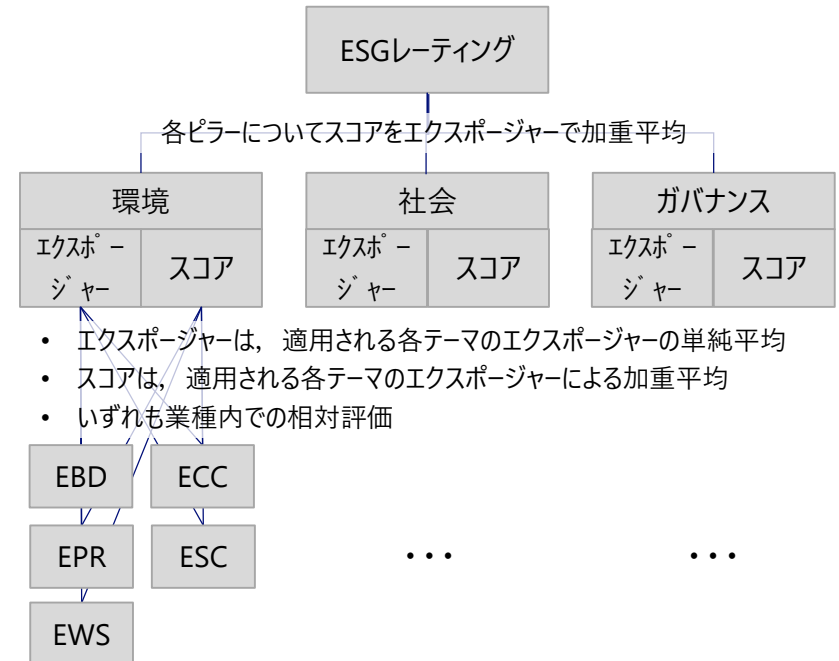
## FTSE Russell社のESG Ratings

- FTSE Russell ESG Ratingsは、ESGへのエクスポージャーおよびパフォーマンスの測度を提供するもの。
  - ESGに関する事業機会等のオポチュニティは、ESG Ratingsとは別のフレームワークに基づいて行う。
- E/S/Gの3本の柱の下に14のテーマを設定。各企業の操業地域、業種等を勘案した上で、各テーマごとに①エクスポージャーと②スコアを付与。
- エクスポージャーを用いてスコアを加重してピラーレベルおよび最終的なESGレーティングを算出。

### ESGテーマの体系

3 Pillars	14 Themes
環境(E)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生物多様性 (Bio Diversity, EBD)</li> <li>• 気候変動 (Climate Change, ECC)</li> <li>• 汚染と資源利用 (Pollution and Resources, EPR)</li> <li>• 水の安全保障 (Water Security, EWS)</li> <li>• サプライチェーン (Supply Chain, ESC)</li> </ul>
社会(S)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客に対する責任 (Customer Responsibility, SCR)</li> <li>• 健康と安全 (Health and Safety, SHS)</li> <li>• 人権と地域社会 (Human Rights and Community, SHR)</li> <li>• 労働基準 (Labor Standards, SLS)</li> <li>• サプライチェーン (Supply Chain, SSC)</li> </ul>
ガバナンス(G)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 腐敗の防止 (Anti-Corruption, GAC)</li> <li>• コーポレート・ガバナンス (Corporate Governance, GCG)</li> <li>• リスク・マネジメント (Risk Management, GRM)</li> <li>• 税の透明性 (Tax Transparency, GTX)</li> </ul>

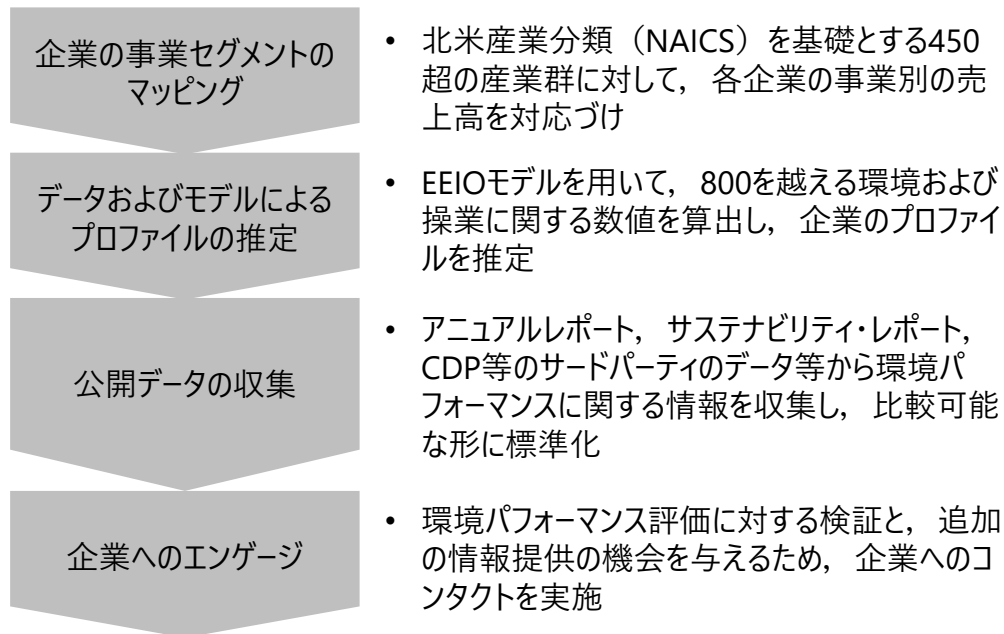
### スコアリングの体系



## S&P Trucost社の環境登録

- S&P Trucost社の「環境登録」(Environmental Register)は、各企業の操業がサプライチェーン全体を通じて環境に与える負荷を評価するもの。
  - 環境を含むグローバルな産業連関 (EEIO) モデルを用いて、開示がない場合においても合理的と考え得る推定値を提供。
  - 公表情報に留まらず、企業が私的に同社に提供した情報も、検証の上で利用。
- 本調査で対象とする指数では、各企業の「炭素強度」(具体的には売上高あたり温室効果ガス排出量)と、排出量に関する開示状況に対するTrucost社の評価が用いられる。

### 環境登録のリサーチの概要



### S&Pグローバル炭素基準分類

#### 売上高あたり温室効果ガス排出量の十分位数分類

- S&Pグローバル大中型株指数について、GICSの各産業グループごとに分位値を算出し、それを各カーボンエフィシエント指数における各銘柄の十分位数分類を決定する際の閾値とする。

#### 温室効果ガス排出量に関する開示状況

- 温室効果ガス (GHGプロトコルのスコープ1および2) の排出量を十分に開示しているとTrucostが判断するかどうか。

#### 産業グループ分類

- S&Pグローバル大中型株指数における、GICSの各産業グループ内での売上高あたり温室効果ガス排出量の第1十分位数と第10十分位数のスプレッドに基づき、その産業グループのインパクトを高/中/低のいずれかに分類。

## Sustainalytics社のESG Risk Ratings

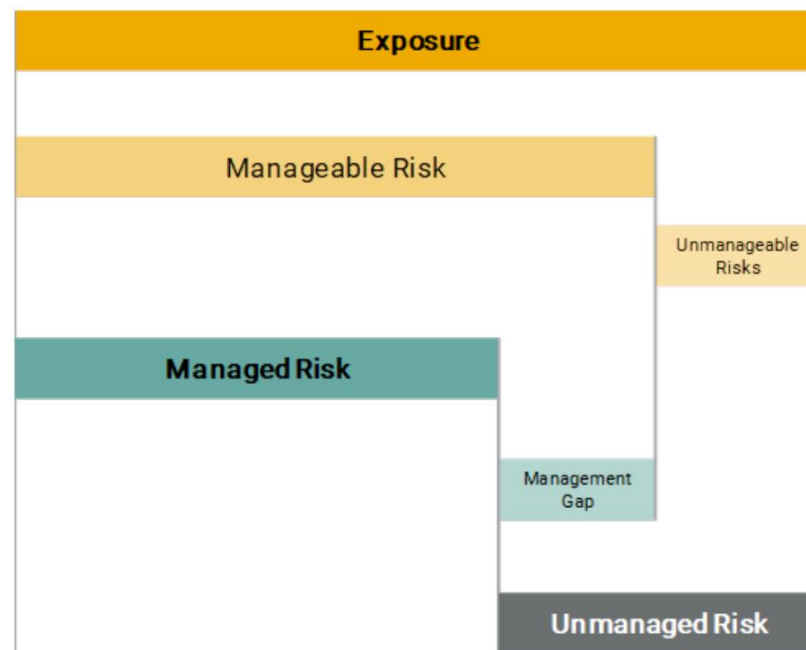
- 企業の経済価値が、どの程度「未管理ESGリスク」(unmanaged ESG risk) に曝されているかを測定するもの。
- 20の重要ESG 이슈 (Material ESG Issues, MEI) およびコーポレート・ガバナンスの観点からの評価を実施。各重要ESG 이슈について、①エクスポージャーと②マネジメントを評価する。
- E/S/Gそれぞれのスコアは、各MEIおよび評価観点としてのコーポレート・ガバナンスがそれぞれ有する指標を再構成することで算出する。ただし、この再構成自体はESG Risk Ratingsのフレームワークの一部ではない。

### ESGキー 이슈の体系

イディオシンクラティック・イシュー	
重要ESG 이슈 (MEI)	
1. The Environmental and Social Impact of Products and Services	11. Human Rights - Supply Chain
2. Human Rights	12. Human Capital
3. Data Privacy and Security	13. Land Use and Biodiversity
4. Business Ethics	14. Land Use and Biodiversity - Supply Chain
5. Bribery and Corruption	15. Occupational Health and Safety
6. Access to Basic Services	16. ESG Integration - Financials
7. Community Relations	17. Product Governance
8. Emissions, Effluents and Waste	18. Resilience
9. Carbon - Own Operations	19. Resource Use
10. Carbon - Products and Services	20. Resource Use - Supply Chain
コーポレート・ガバナンス	

(出所) Sustainalytics社資料よりNRI

### スコアリングの体系



(出所) Sustainalytics社

## Equileap社のGender Equality Scorecard

- 国連の「女性のエンパワーメント原則」に基づき、各企業におけるジェンダー間の平等性をスコア化するもの。
- 4つのカテゴリーに合計19の規準（criterion）を設け、評価する。

### Gender Equality Scorecardの評価カテゴリーと規準

カテゴリー	規準	カテゴリー	規準
A. 経営および職場のジェンダーバランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会，非業務執行取締役</li> <li>業務執行取締役会</li> <li>上級マネジメント</li> <li>従業員</li> <li>昇進とキャリア開発の機会</li> </ul>	C. ジェンダー間の平等を推進するポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>トレーニングとキャリア開発</li> <li>採用戦略</li> <li>暴力，虐待，セクシャル・ハラスメントの抑止</li> <li>職場における安全</li> <li>人権</li> <li>サプライチェーンにおける社会リスクの抑止</li> <li>サプライチェーンにおけるダイバーシティ</li> <li>従業員の保護</li> </ul>
B. 平等な報酬とワークライフ・バランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活賃金の保証</li> <li>報酬のジェンダー間格差</li> <li>育児休暇</li> <li>柔軟な勤務形態</li> </ul>	D. コミットメント，透明性，説明責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>国連「女性のエンパワーメント原則」への署名</li> <li>Equileapの認める独立認証機関による認証の獲得</li> </ul>

01 概要

02 対象指数の特定

03 対象指数の定量的特徴

04 主要なESG評価の体系

05 対象指数の定量的プロフィール

# 各指数の定量的特徴

### ■ 累積リターン

- 対象指数の算出開始月末を起点とし、2020年12月末までの税引前配当再投資・円ベースの累積リターンを、対象指数と親指数について示したものの。
- 明示的な親指数のないESG指数については、一般に参照され、そのESG指数の親指数とみて差し支えないと考えられるものを親指数と見なして比較・算出した。
- なお、両者に差異がほとんどないため、表示しているスケールでは違いを判別できない指数も含まれる。

### ■ リスク・リターン特性と属性値

- 算出開始来（年率）と過去5年（年率）は、累積リターンの算出に用いた月次リターンに基づき、トータルリターン、標準偏差、対象指数の親指数に対する超過リターンおよびその実績トラッキング・エラーについて示したものの。
- 組入銘柄数、アクティブシェア、P/B倍率、配当利回り、回転率（片道）は、各指数プロバイダーから提供された算出結果、および情報端末等にて取得できる公表データ等に基づき、必要に応じてNRIにて加工・算出したもの。特に断りがない限り、2020年12月末時点。

### ■ 業種ウェイト

- 各指数プロバイダーより提供されたデータに基づき、各社の採用する以下の業種分類体系に則して、親指数とESG指数それぞれの業種ごとのウェイト合計を算出したもの。
  - GICS業種ウェイト：Global Industry Classification Standards®のセクター（Sector）ウェイト
  - ICB業種ウェイト：Industry Classification Benchmark®の産業（Industry）ウェイト
  - GECS業種ウェイト：Global Equity Classification Structureに基づくセクター（Sector）ウェイト
  - 東証33業種ウェイト：東証33業種に基づく業種ウェイト

### ■ カントリーウェイト上位10ヶ国

- 各指数プロバイダーより提供されたデータに基づいて算出した国毎のウェイト合計の上位10ヶ国。

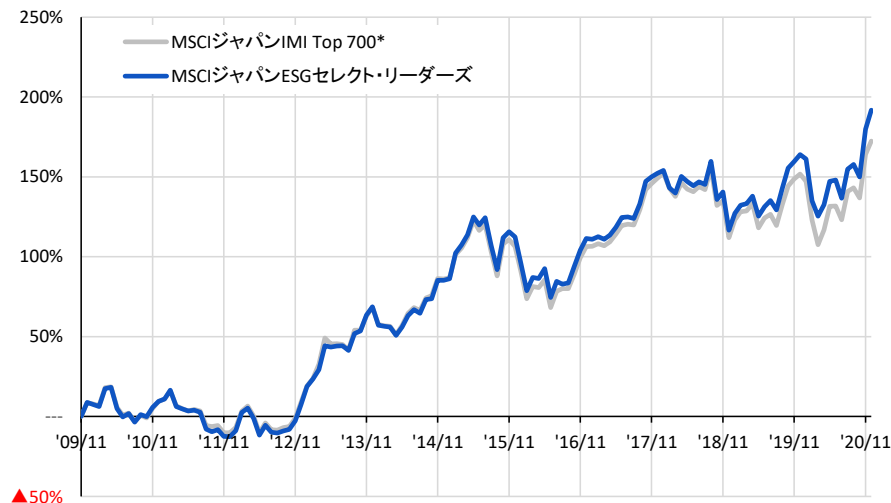
### ■ オーバーウェイト上位10銘柄

- アクティブウェイト（ESG指数におけるウェイトと、親指数におけるウェイトの差）の上位10銘柄。各指数プロバイダーから提供されたデータ、および情報端末等にて取得できる公表データ等に基づく。



# MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

## 累積リターン

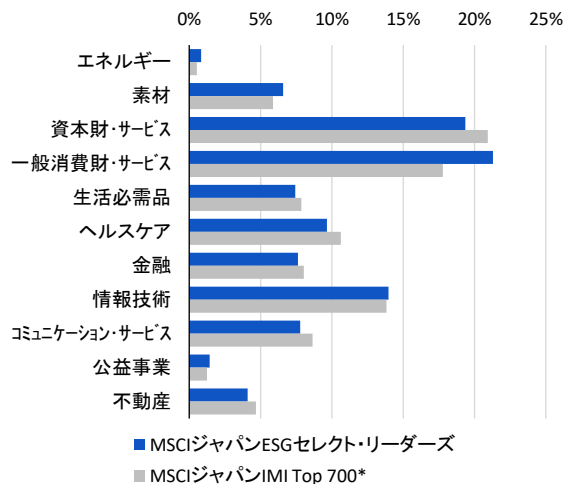


▲50%

## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	11.2%	10.5%	0.7%
	標準偏差	17.4%	17.1%	0.2%
	超過リターン	0.7%		
	トラッキングエラー	2.2%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	7.6%	6.8%	0.8%
	標準偏差	15.9%	16.0%	▲0.1%
	超過リターン	0.8%		
	トラッキングエラー	2.2%		
組入銘柄数		235	699	▲464
アクティブシェア		45.6%		
P/B倍率		1.7	1.4	0.3
配当利回り		2.0%	2.0%	0.0%
回転率		10.2%	4.2%	5.9%

## GICS業種ウェイト (2020年12月末)

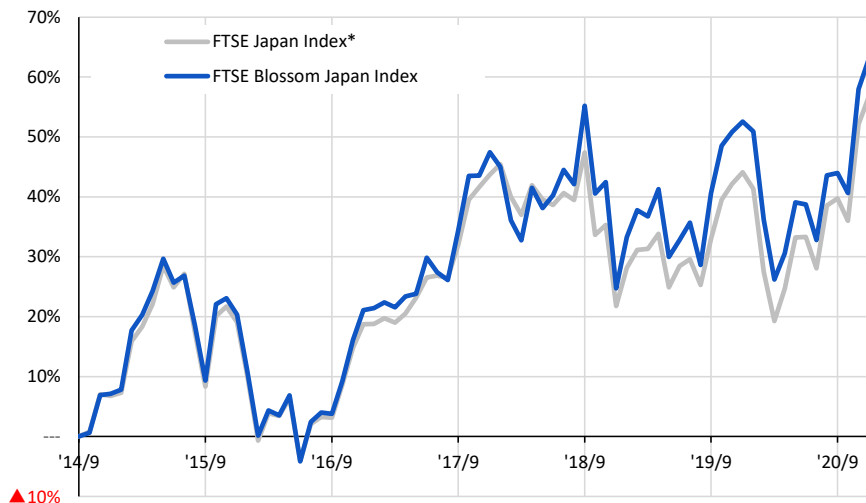


## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	TOYOTA MOTOR CORP	3.0%
2	SONY CORP	2.3%
3	KEYENCE CORP	1.9%
4	NINTENDO CO	1.3%
5	SHIN-ETSU CHEMICAL CO	1.1%
6	DAIICHI SANKYO CO	1.1%
7	RECRUIT HOLDINGS CO	1.0%
8	TOKYO ELECTRON	1.0%
9	DAIKIN INDUSTRIES	1.0%
10	FAST RETAILING CO	1.0%

# FTSE Blossom Japan指数

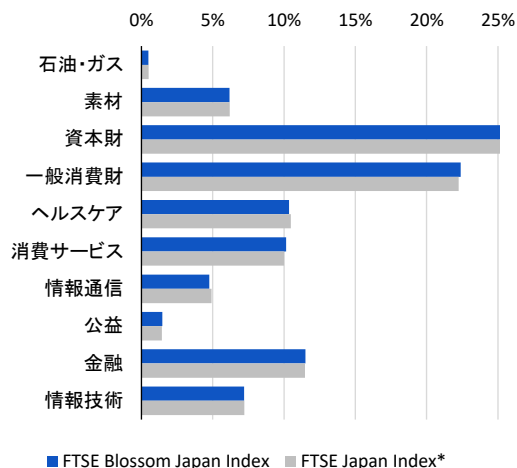
## 累積リターン



## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	9.6%	8.6%	1.0%
	標準偏差	18.5%	16.6%	1.9%
	超過リターン	1.0%		
	トラッキングエラー	4.2%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	7.8%	6.9%	1.0%
	標準偏差	18.7%	16.4%	2.3%
	超過リターン	1.0%		
	トラッキングエラー	4.6%		
組入銘柄数		201	1,393	▲1192
アクティブシェア		43.1%		
P/B倍率		1.4	1.4	▲0.0
配当利回り		2.4%	2.1%	0.3%
回転率		5.1%	0.7%	4.4%

## GICS業種ウェイト (2020年12月末)

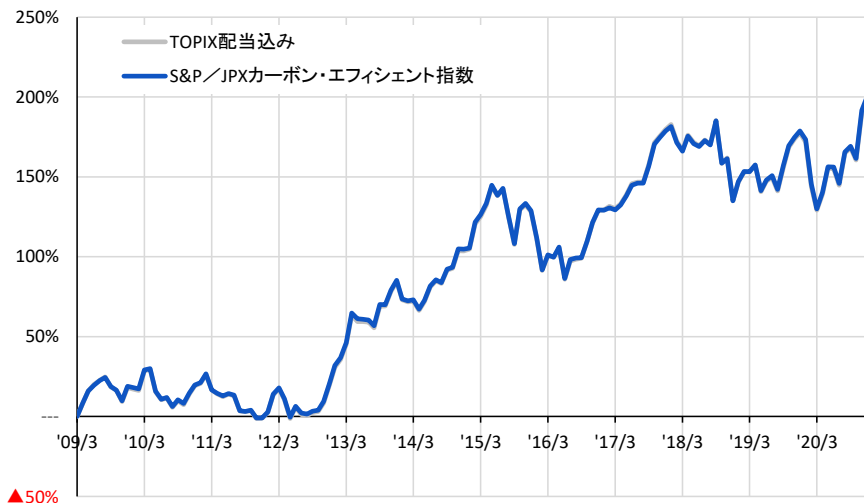


## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	Toyota Motor	2.0%
2	Fast Retailing	1.8%
3	Sony Corp	1.3%
4	Oriental Land	1.2%
5	Shin-Etsu Chemical	1.1%
6	Seven & I Holdings	1.1%
7	KDDI Corp	1.0%
8	Daikin Industries	1.0%
9	Nidec Corp	0.9%
10	Mitsubishi UFJ Financial	0.9%

# S&P / JPXカーボン・エフィシエント指数

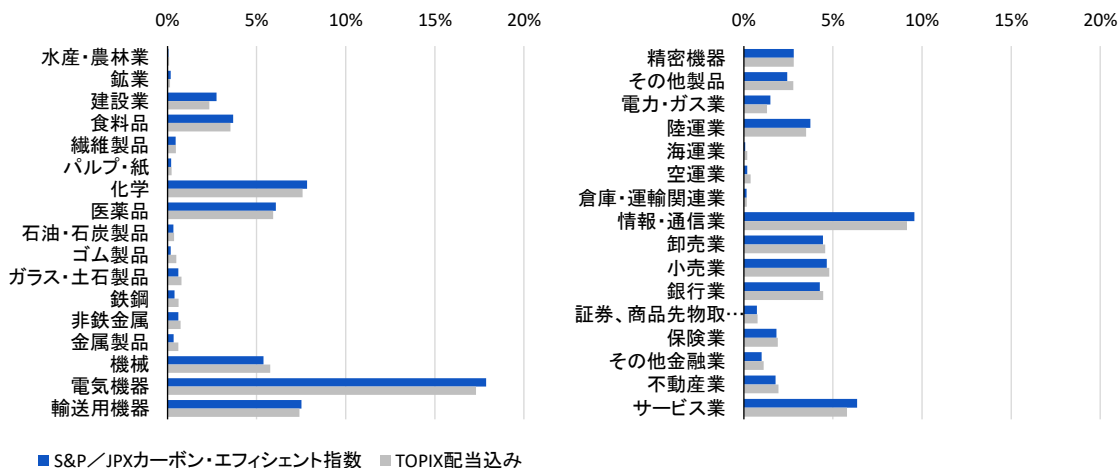
## 累積リターン



## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	10.8%	10.8%	0.1%
	標準偏差	17.1%	17.1%	▲0.0%
	超過リターン	0.1%		
	トラッキングエラー	0.5%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	6.8%	6.7%	0.1%
	標準偏差	16.2%	16.2%	0.0%
	超過リターン	0.1%		
	トラッキングエラー	0.5%		
組入銘柄数		1,787	2,172	▲385
アクティブシェア		10.6%		
P/B倍率		1.4	1.3	0.1
配当利回り		2.0%	2.0%	▲0.0%
回転率		9.1%	n/a	n/a

## 東証33業種ウェイト (2020年12月末)

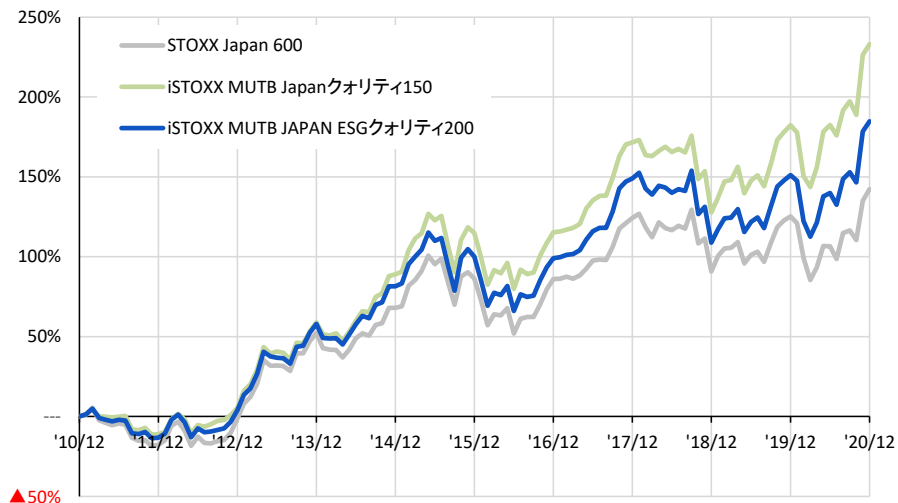


## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	ソニー	1.1%
2	リクルートホールディングス	0.4%
3	武田薬品工業	0.3%
4	キリンホールディングス	0.2%
5	資生堂	0.2%
6	日本たばこ産業	0.2%
7	ネクソン	0.2%
8	第一三共	0.2%
9	オリエンタルランド	0.2%
10	アサヒグループホールディングス	0.2%

# iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200指数

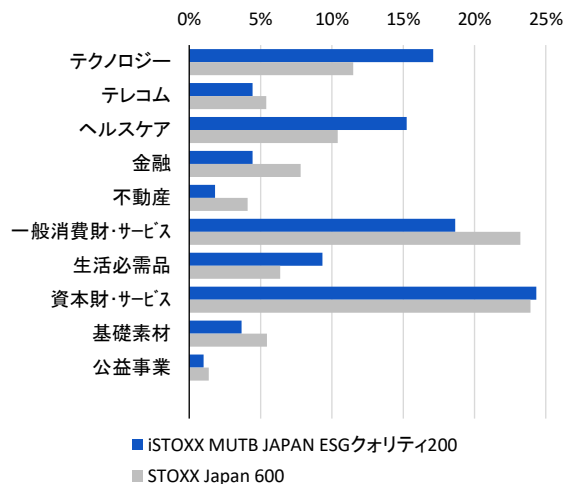
## 累積リターン



## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	11.8%	10.3%	1.5%
	標準偏差	16.1%	16.8%	▲0.6%
	超過リターン	1.5%		
	トラッキングエラー	2.7%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	8.4%	6.6%	1.8%
	標準偏差	16.0%	16.1%	▲0.1%
	超過リターン	1.8%		
	トラッキングエラー	2.7%		
組入銘柄数		200	600	▲400
アクティブシェア		45.6%		
P/B倍率		2.4	1.4	1.0
配当利回り		2.1%	2.2%	▲0.1%
回転率		29.8%	3.1%	26.7%

## ICB業種ウェイト (2020年12月末)



## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	Hoya Corp.	1.1%
2	KDDI Corp.	1.0%
3	Fanuc Ltd.	1.0%
4	Itochu Corp.	0.9%
5	M3	0.9%
6	Murata Manufacturing Co. Ltd.	0.9%
7	Tokyo Electron Ltd.	0.9%
8	Kao Corp.	0.8%
9	SMC Corp.	0.8%
10	Tokio Marine Holdings Inc.	0.8%

# MSCI日本株女性活躍指数

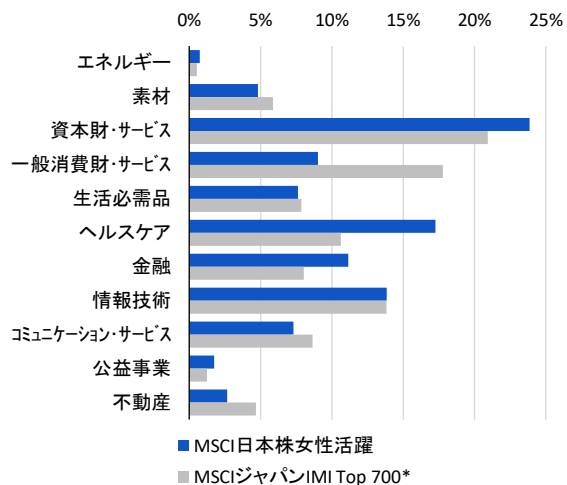
## 累積リターン



## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	11.0%	10.5%	0.5%
	標準偏差	16.2%	17.1%	▲0.9%
	超過リターン	0.5%		
	トラッキングエラー	2.7%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	7.4%	6.8%	0.6%
	標準偏差	15.7%	16.0%	▲0.3%
	超過リターン	0.6%		
	トラッキングエラー	2.6%		
組入銘柄数		301	699	▲398
アクティブシェア		50.8%		
P/B倍率		1.6	1.4	0.2
配当利回り		2.0%	2.0%	0.0%
回転率		32.0%	4.2%	27.7%

## GICS業種ウェイト (2020年12月末)

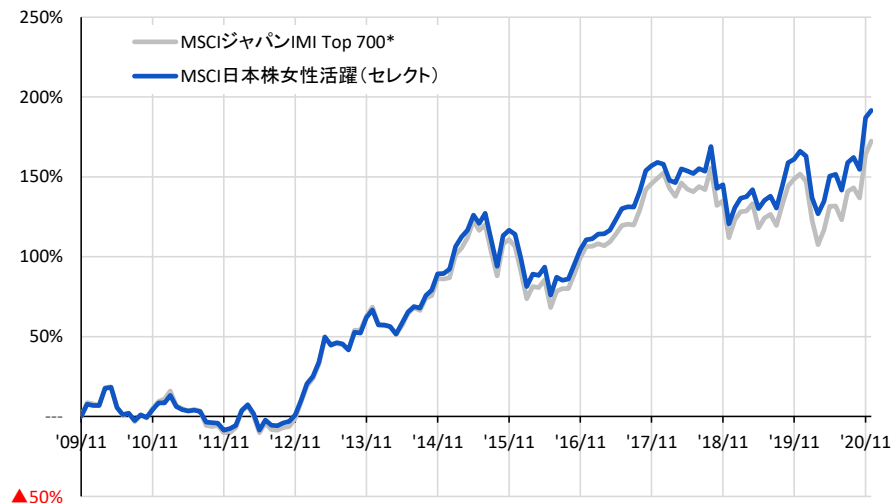


## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	RECRUIT HOLDINGS CO	2.7%
2	TOKYO ELECTRON	2.4%
3	CHUGAI PHARMACEUTICAL	2.3%
4	KAO CORP	1.7%
5	KDDI	1.6%
6	M3	1.6%
7	JAPAN EXCHANGE GROUP	1.3%
8	MS&AD INSURANCE GROUP	1.3%
9	DAIKIN INDUSTRIES	1.2%
10	ASTELLAS PHARMA	1.2%

# MSCI日本株女性活躍指数（セレクト）

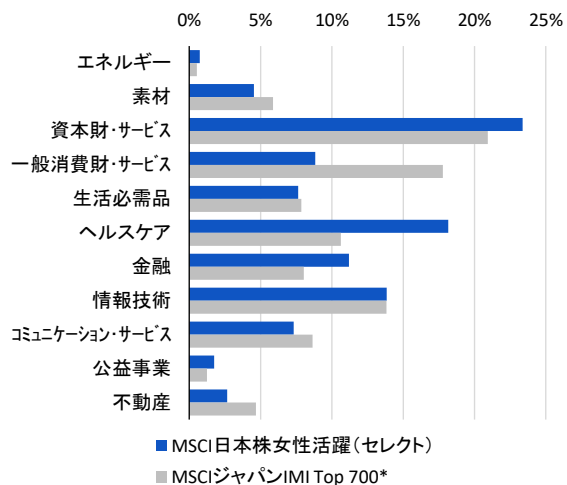
## 累積リターン



## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	11.0%	10.5%	0.5%
	標準偏差	16.3%	17.1%	▲0.9%
	超過リターン	0.5%		
	トラッキングエラー	2.6%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	7.4%	6.8%	0.6%
	標準偏差	15.7%	16.0%	▲0.4%
	超過リターン	0.6%		
	トラッキングエラー	2.7%		
組入銘柄数		265	699	▲434
アクティブシェア		50.8%		
P/B倍率		1.7	1.4	0.3
配当利回り		2.0%	2.0%	0.0%
回転率		31.9%	4.2%	27.7%

## GICS業種ウェイト (2020年12月末)



## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	RECRUIT HOLDINGS CO	2.7%
2	TOKYO ELECTRON	2.4%
3	CHUGAI PHARMACEUTICAL	2.3%
4	KAO CORP	1.7%
5	KDDI	1.6%
6	M3	1.6%
7	JAPAN EXCHANGE GROUP	1.3%
8	MS&AD INSURANCE GROUP	1.3%
9	DAIKIN INDUSTRIES	1.2%
10	ASTELLAS PHARMA	1.2%

# MSCI ACWI (除く日本) ESG ユニバーサル指数

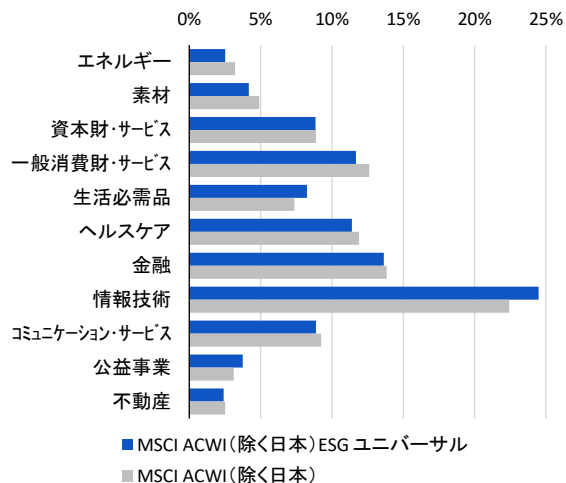
## 累積リターン



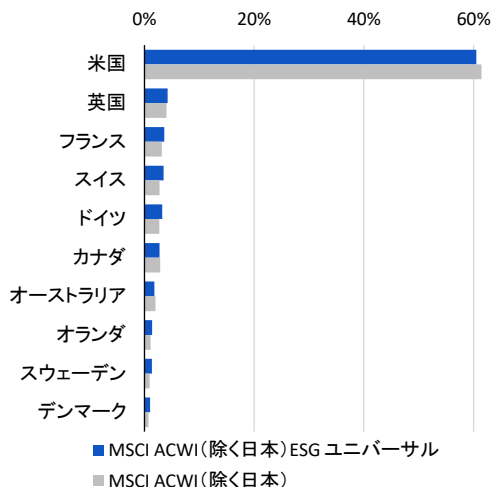
## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	13.5%	13.3%	0.3%
	標準偏差	18.3%	18.5%	▲0.2%
	超過リターン	0.3%		
	トラッキングエラー	1.0%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	11.2%	10.9%	0.3%
	標準偏差	17.6%	17.8%	▲0.2%
	超過リターン	0.3%		
	トラッキングエラー	0.8%		
組入銘柄数		2,567	2,681	▲114
アクティブシェア		17.4%		
P/B倍率		3.1	2.9	0.2
配当利回り		1.8%	1.8%	0.0%
回転率		11.0%	5.5%	5.5%

## GICS業種ウェイト (2020年12月末)



## カントリーウェイト上位10ヶ国 (2020年12月末)



## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	MICROSOFT CORP	1.7%
2	ALPHABET A	0.6%
3	ALPHABET C	0.6%
4	TAIWAN SEMICONDUCTOR	0.5%
5	PROCTER & GAMBLE CO	0.4%
6	NESTLE	0.4%
7	NVIDIA	0.4%
8	HOME DEPOT	0.3%
9	ADOBE	0.3%
10	COCA COLA (THE)	0.2%

# S&P グローバル（除く日本）大中小型株 カーボン・エフィシエント指数

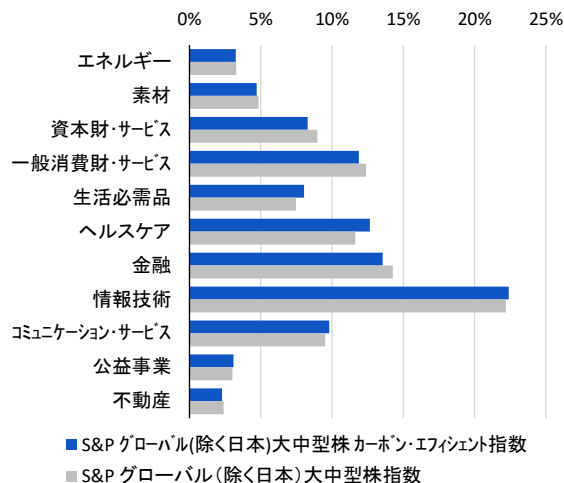
## 累積リターン



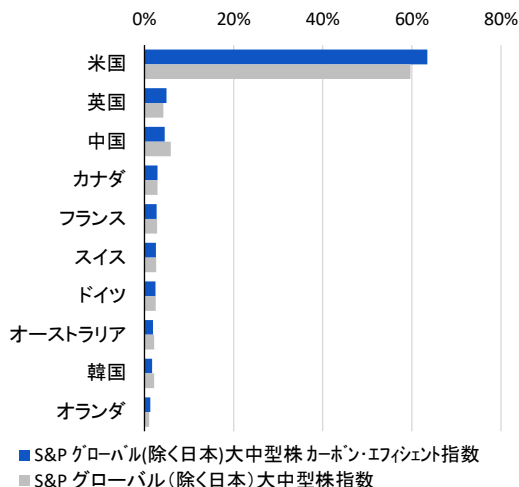
## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	14.9%	15.0%	▲0.0%
	標準偏差	18.4%	18.4%	0.0%
	超過リターン	▲0.0%		
	トラッキングエラー	0.6%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	10.8%	11.0%	▲0.1%
	標準偏差	17.7%	17.7%	0.0%
	超過リターン	▲0.1%		
	トラッキングエラー	0.6%		
組入銘柄数		2,097	2,989	▲892
アクティブシェア		15.6%		
P/B倍率		3.1	2.9	0.2
配当利回り		1.8%	1.8%	0.0%
回転率		12.2%	5.3%	7.0%

## GICS業種ウェイト (2020年12月末)



## カントリーウェイト上位10ヶ国 (2020年12月末)



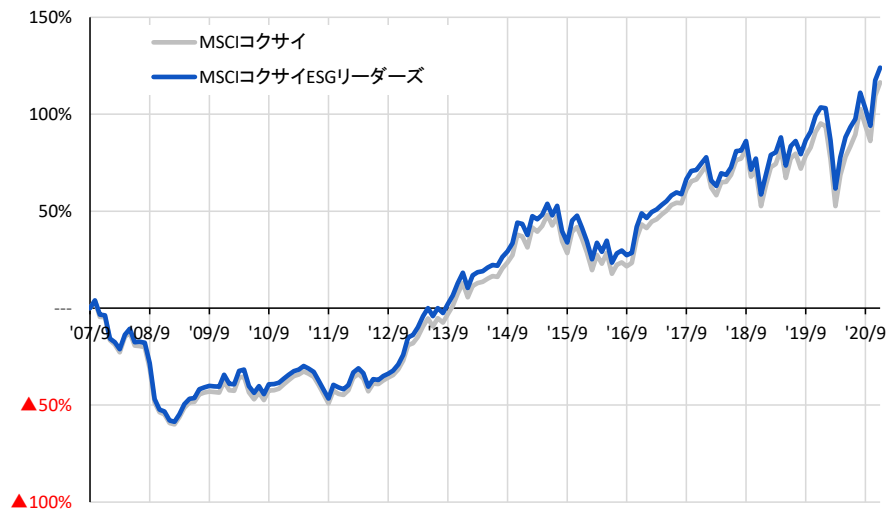
## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	Apple Inc.	0.7%
2	Coca-Cola Co	0.5%
3	Amazon.com Inc	0.3%
4	ASML Holding NV	0.1%
5	Altria Group Inc	0.1%
6	Amgen Inc	0.1%
7	Bristol-Myers Squibb	0.1%
8	Charter Communications In	0.1%
9	Ecolab Inc	0.1%
10	Diageo Plc	0.1%



# MSCIコクサイESGリーダーズ指数

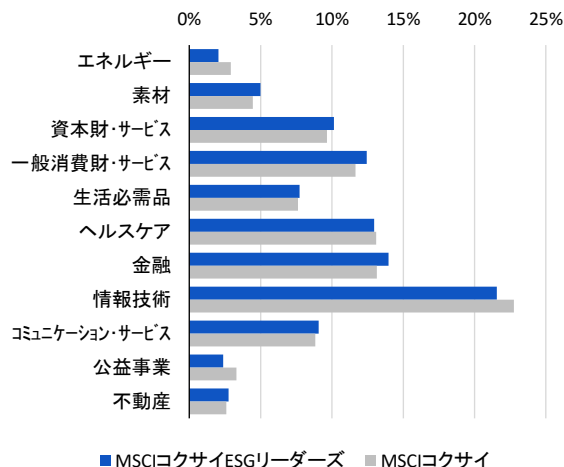
## 累積リターン



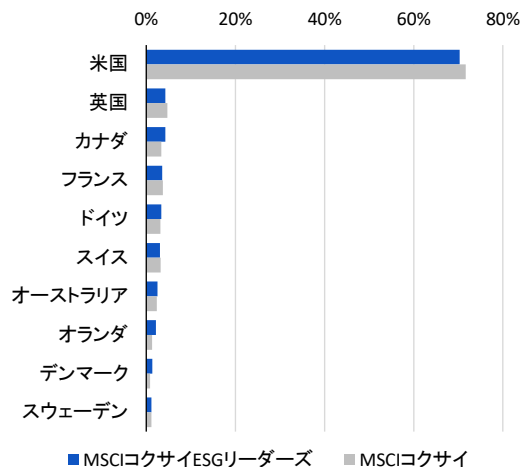
## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	8.3%	8.1%	0.2%
	標準偏差	20.5%	20.8%	▲0.3%
	超過リターン	0.2%		
	トラッキングエラー	1.3%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	10.8%	11.0%	▲0.2%
	標準偏差	17.7%	18.1%	▲0.4%
	超過リターン	▲0.2%		
	トラッキングエラー	1.3%		
組入銘柄数		575	1,284	▲709
アクティブシェア		51.7%		
P/B倍率		3.7	3.2	0.5
配当利回り		1.9%	1.8%	0.1%
回転率		9.7%	4.7%	4.9%

## GICS業種ウェイト (2020年12月末)



## カントリーウェイト上位10ヶ国 (2020年12月末)

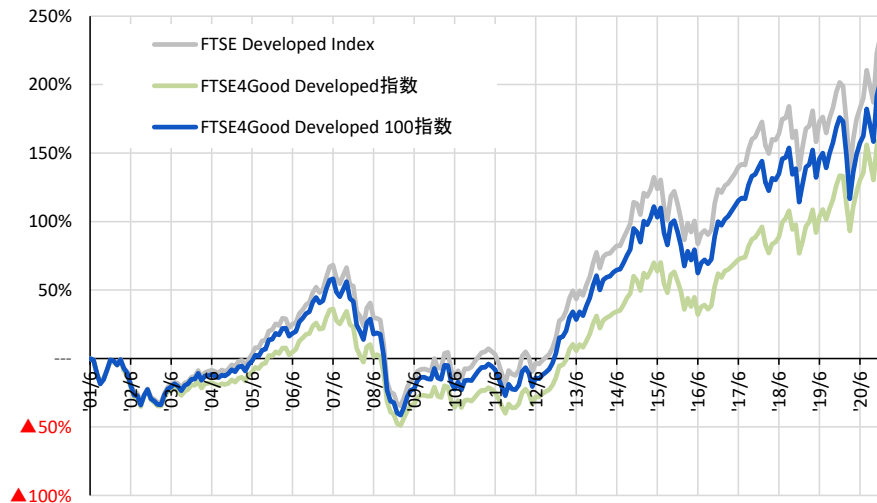


## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	MICROSOFT CORP	3.6%
2	ALPHABET A	1.2%
3	TESLA	1.2%
4	ALPHABET C	1.2%
5	JOHNSON & JOHNSON	0.9%
6	VISA A	0.8%
7	PROCTER & GAMBLE CO	0.8%
8	DISNEY (WALT)	0.7%
9	NVIDIA	0.7%
10	MASTERCARD A	0.7%

# FTSE4Good Developed 100指数

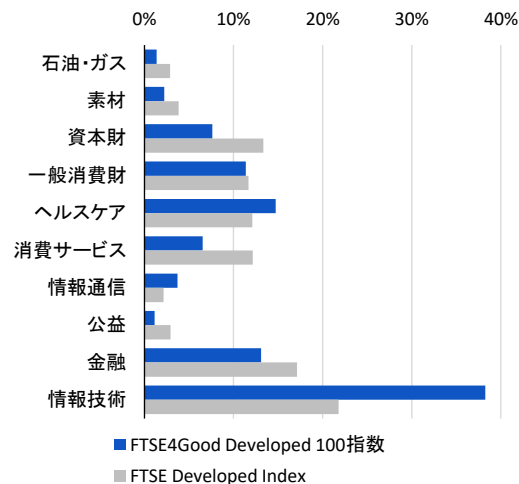
## 累積リターン



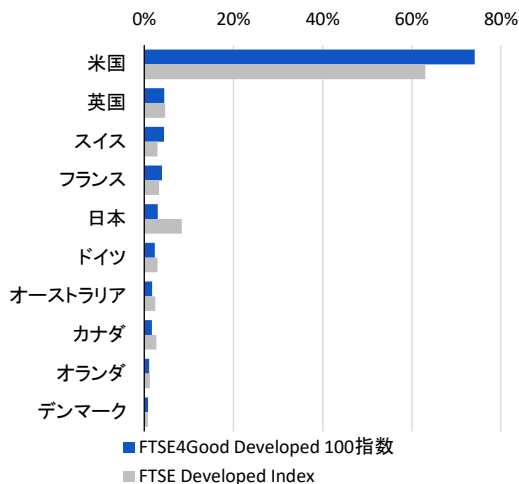
## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	7.6%	8.0%	▲0.4%
	標準偏差	19.5%	18.9%	0.7%
	超過リターン	▲0.4%		
	トラッキングエラー	2.0%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	10.7%	10.6%	0.0%
	標準偏差	18.0%	17.8%	0.2%
	超過リターン	0.0%		
	トラッキングエラー	1.3%		
組入銘柄数		103	2,136	▲2033
アクティブシェア		65.4%		
P/B倍率		4.5	2.8	1.7
配当利回り		1.8%	1.9%	▲0.0%
回転率		4.6%	0.2%	4.3%

## GICS業種ウェイト (2020年12月末)



## カントリーウェイト上位10ヶ国 (2020年12月末)

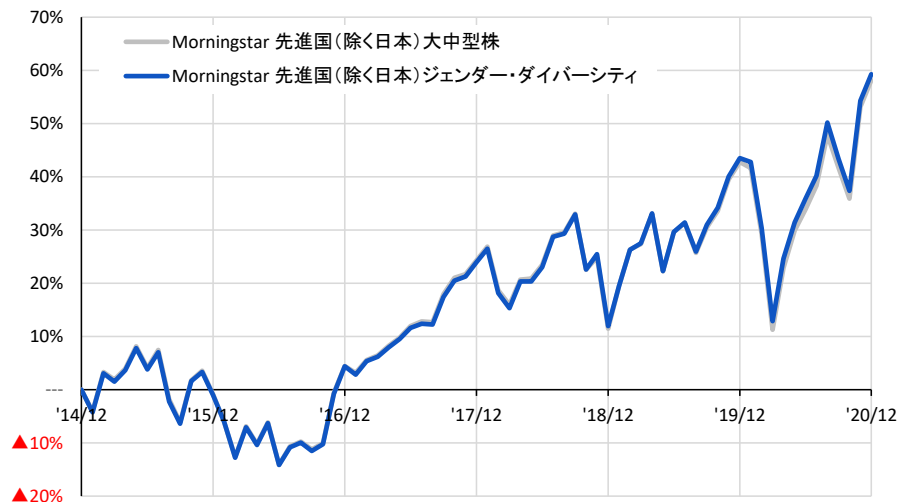


## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	Apple Inc.	6.5%
2	Microsoft Corp	6.1%
3	Alphabet Class A	1.9%
4	Alphabet Class C	1.9%
5	Johnson & Johnson	1.5%
6	Visa	1.4%
7	Procter & Gamble	1.2%
8	Nestle	1.2%
9	Disney (Walt) Company	1.2%
10	Mastercard CL A	1.2%

# Morningstar 先進国（除く日本）ジェンダー・ダイバーシティ指数

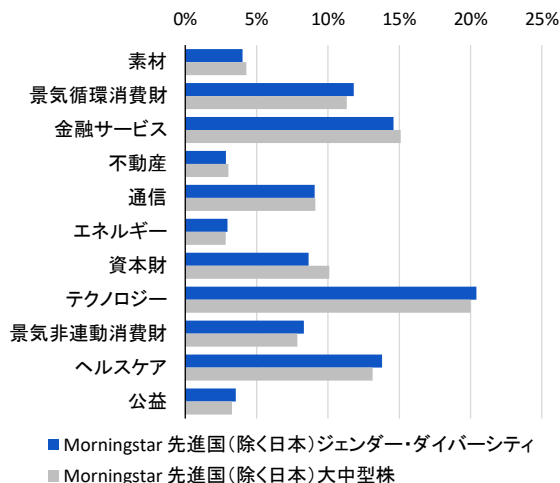
## 累積リターン



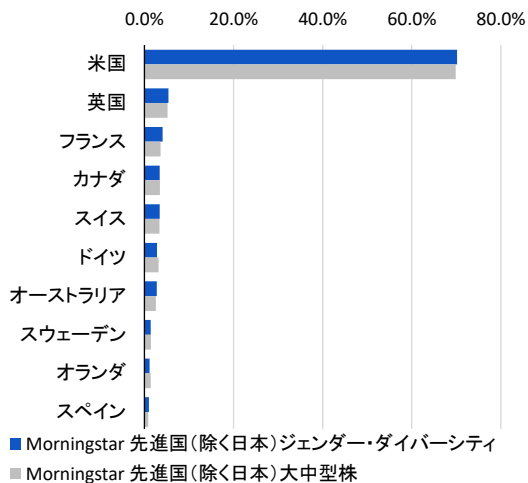
## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	9.4%	9.3%	0.1%
	標準偏差	18.0%	18.1%	▲0.1%
	超過リターン	0.1%		
	トラッキングエラー	0.6%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	11.2%	11.0%	0.2%
	標準偏差	18.1%	18.2%	▲0.1%
	超過リターン	0.2%		
	トラッキングエラー	0.6%		
組入銘柄数		1,926	1,938	▲12
アクティブシェア		16.2%		
P/B倍率		3.1	3.0	0.1
配当利回り		1.8%	1.7%	0.1%
回転率		15.2%	4.2%	11.0%

## GECS業種ウェイト (2020年12月末)



## カントリーウェイト上位10ヶ国 (2020年12月末)

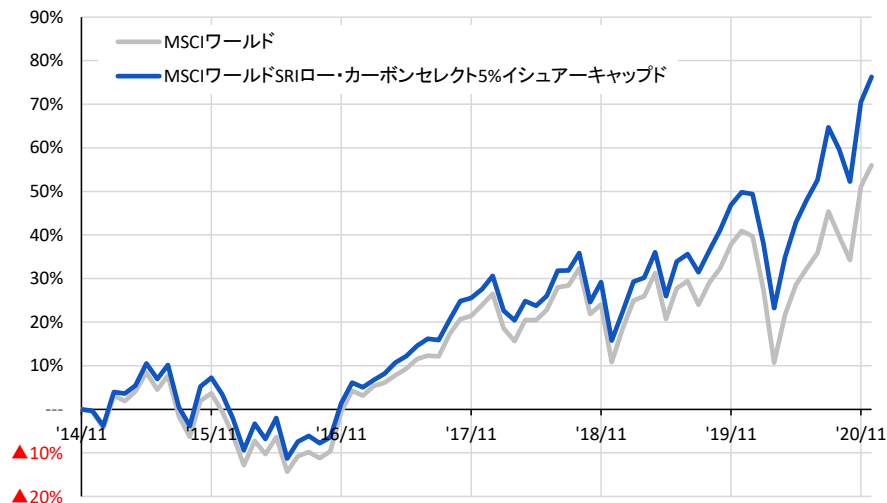


## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	Microsoft Corp	1.3%
2	Amazon.com Inc	1.1%
3	TELUS Corp	0.5%
4	Apple Inc.	0.5%
5	Saputo Inc	0.4%
6	Visa Inc A	0.3%
7	Nvidia Corp	0.3%
8	Johnson & Johnson	0.2%
9	Mastercard Inc A	0.2%
10	MERCK KGaA	0.2%

# MSCIワールドSRIロー・カーボンセレクト5%イシューアークャップド指数

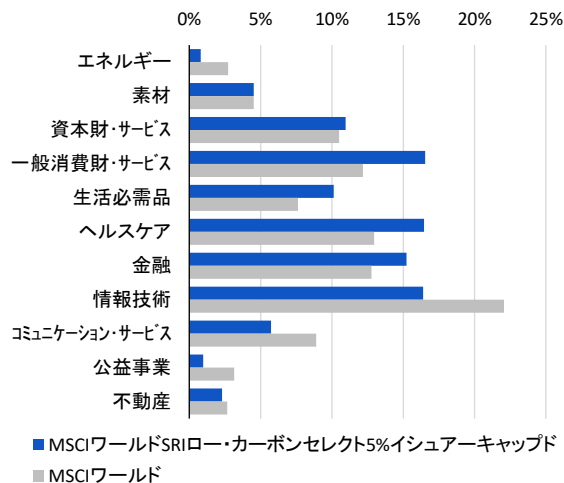
## 累積リターン



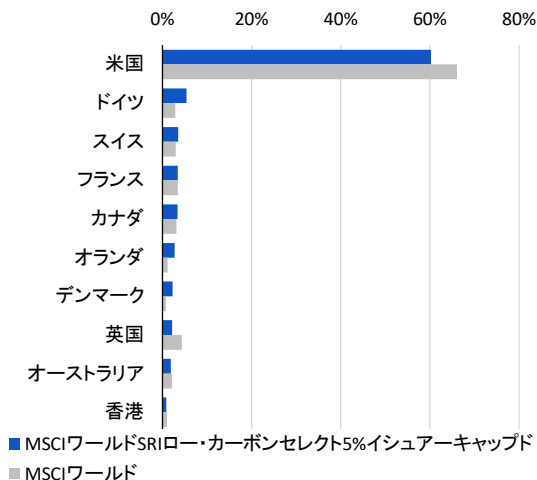
## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	10.8%	8.9%	1.9%
	標準偏差	17.3%	17.7%	▲0.5%
	超過リターン	1.9%		
	トラッキングエラー	2.2%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	12.2%	10.6%	1.6%
	標準偏差	17.2%	17.8%	▲0.6%
	超過リターン	1.6%		
	トラッキングエラー	2.4%		
組入銘柄数		328	1,585	▲1257
アクティブシェア		76.8%		
P/B倍率		3.7	2.9	0.7
配当利回り		1.7%	1.8%	▲0.1%
回転率		15.9%	4.7%	11.2%

## GICS業種ウェイト (2020年12月末)



## カントリーウェイト上位10ヶ国 (2020年12月末)

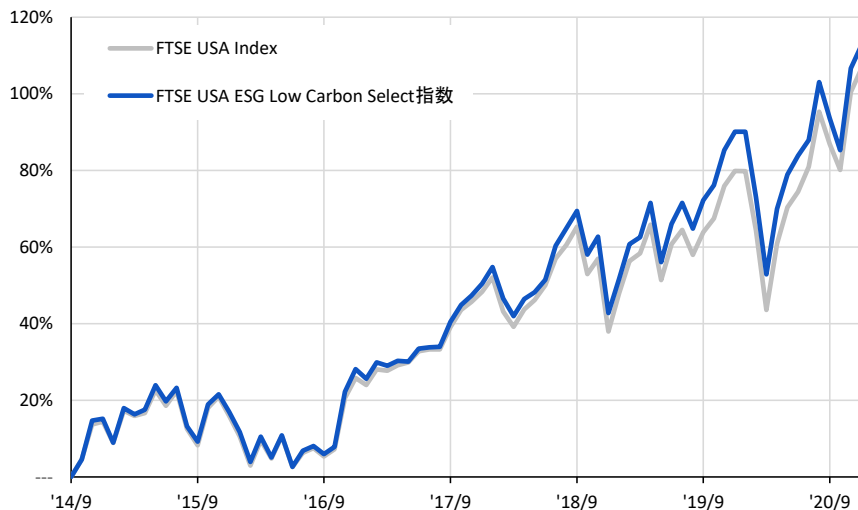


## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト差分
1	TESLA	3.8%
2	PROCTER & GAMBLE CO	2.5%
3	DISNEY (WALT)	2.4%
4	NVIDIA	2.3%
5	HOME DEPOT	2.1%
6	MICROSOFT CORP	1.9%
7	ROCHE HOLDING GENUSS	1.8%
8	ASML HLDG	1.5%
9	PEPSICO	1.5%
10	SALESFORCE.COM	1.5%

# FTSE USA ESG Low Carbon Select指数

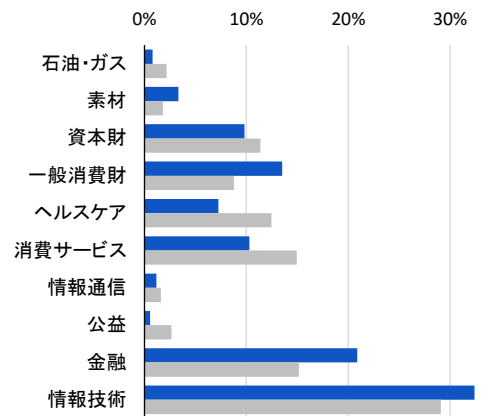
## 累積リターン



## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	13.8%	13.3%	0.5%
	標準偏差	18.5%	18.2%	0.2%
	超過リターン	0.5%		
	トラッキングエラー	1.7%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	13.7%	13.3%	0.4%
	標準偏差	18.5%	18.4%	0.1%
	超過リターン	0.4%		
	トラッキングエラー	1.8%		
組入銘柄数		438	584	▲146
アクティブシェア		40.7%		
P/B倍率		4.2	4.4	▲0.3
配当利回り		1.8%	1.5%	0.2%
回転率		23.3%	0.2%	23.2%

## ICB業種ウェイト (2020年12月末)



## カントリーウェイト上位10ヶ国 (2020年12月末)

- いずれも米国100%

## オーバーウェイト上位10銘柄 (2020年12月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	Microsoft Corp	4.1%
2	Citigroup	2.8%
3	Intel Corp	1.9%
4	Accenture Cl A	1.4%
5	Procter & Gamble	1.4%
6	Visa	1.3%
7	Cisco Systems	1.2%
8	Mastercard CL A	1.2%
9	Ecolab	1.2%
10	Merck & Co	1.1%

# 日経ESG-REIT指数

## 累積リターン



(注) 期間は2021年1月まで

## オーバーウェイト上位10銘柄 (2021年1月末)

#	銘柄名称	ウェイト 差分
1	日本プロロジスリート投資法人	1.0%
2	日本ビルファンド投資法人	0.5%
3	大和証券オフィス投資法人	0.5%
4	イオンリート投資法人	0.5%
5	森ヒルズリート投資法人	0.3%
6	日本プライムリアルティ投資法人	0.3%
7	アクティバ・ポパティーズ投資法人	0.3%
8	ヒューリックリート投資法人	0.2%
9	大和ハウスリート投資法人	0.2%
10	産業ファンド投資法人	0.2%

## リスク・リターン特性と属性値

		対象指数	親指数	差分
算出開始来 (年率)	トータルリターン	6.0%	5.9%	0.1%
	標準偏差	15.1%	15.1%	▲0.0%
	超過リターン	0.1%		
	トラッキングエラー	0.3%		
過去5年 (年率)	トータルリターン	---	---	---
	標準偏差	---	---	---
	超過リターン	---		
	トラッキングエラー	---		
組入銘柄数		61	62	▲1
アクティブシェア		5.0%		
P/B倍率		1.4	1.4	0.0
配当利回り		3.9%	4.0%	▲0.0%
回転率		---	---	---

(注) リスク・リターン特性は2021年1月まで。P/B倍率、配当利回りはファクトシートに基づく。

## ディスクレーマー

*Copyright MSCI 2021. Unpublished. All Rights Reserved. This information may only be used for your internal use, may not be reproduced or disseminated in any form and may not be used to create any financial instruments or products or any indexes. None of this information is intended to constitute investment advice or a recommendation to make (or refrain from making) any kind of investment decision and may not be relied on as such. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance, analysis, forecast or prediction. This information is provided on an “as is” basis and the user of this information assumes the entire risk of any use it may make or permit to be made of this information. Neither MSCI, any or its affiliates or any other person involved in or related to compiling, computing or creating this information makes any express or implied warranties or representations with respect to such information or the results to be obtained by the use thereof, and MSCI, its affiliates and each such other person hereby expressly disclaim all warranties (including, without limitation, all warranties of originality, accuracy, completeness, timeliness, non-infringement, merchantability and fitness for a particular purpose) with respect to this information. Without limiting any of the foregoing, in no event shall MSCI, any of its affiliates or any other person involved in or related to compiling, computing or creating this information have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential or any other damages (including, without limitation, lost profits) even if notified of, or if it might otherwise have anticipated, the possibility of such damages.*